

令和8年度 評価規準

学校名:江戸川区立鹿骨中学校

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	3年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
消費者トラブル	1	・自分や家族にとって身近な消費者トラブルの事例とその解決方法を知る。	【主】消費生活に関わるトラブルなどを解決する方法を考えることを通して、自分と家族の消費の在り方を改善しようとしている。 【知】消費者トラブルに関する知識を身に付けている。
よりよい消費生活を目指して	0.5	・消費者としての自覚を高め、よりよい消費生活について考えることができる。	【主】消費行動の成功例や失敗例について意思決定プロセスに沿って振り返り、課題を見つけようとしている。 【知】よりよい消費生活を送れるよう、自分の消費行動を複数の観点から検討することの大切さを理解している。
自分の成長と家族・家族生活	2	・家族・地域、幼児の学習を把握し、学習の見通しを持つことができる。 ・家庭や家族の基本的な機能を知り、家庭や家族の大切さについて考えることができる。 ・家庭生活と地域とのかかわりについて理解できる。	【知】家庭や家族の基本的な機能について理解している。 【知】家庭や家族の重要性に気づき、家族の一員として自分にできることを理解している。
幼児の心身の発達	3	・幼児に関心を持ち、幼児の生活と家族の学習の流れを把握し、学習の見通しを立てることができる。 ・幼児の心身の発達の特徴を理解できる。	【主】幼いころを振り返り、自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付いている。 【知】幼児の心身の発育や運動機能の発達、言葉および情緒、社会性の発達の特徴について理解している。 【知】幼児の心身の発達を支える家族の役割について理解している。
幼児の生活と遊び	5	・幼児にとっての遊びの意義について理解できる。 ・幼児の発達にあった手作りのおもちゃを製作する。	【知】幼児にとっての遊びの意義について理解している。 【知】幼児にとって、遊びは生活そのものであり、身体の発育や運動機能、言葉、情緒、社会性などの発達を促していることを理解している。 【知】幼児の遊びを豊かにするおもちゃの製作を工夫する。 【思】簡単なおもちゃの製作を通して、幼児に関心を持っている。
幼児の生活習慣	1	・幼児の生活習慣を理解できる。	【知】幼児の生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割、基本的な信頼関係を築くことの大切さについて、幼児の心身の発達に応じたかかわりの必要性も踏まえて理解し、具体的に説明することができる。
幼児の食生活	1	・幼児の食生活を理解し、調理することができる。	【主】幼児の成長と食生活に関心を持っている。 【知】幼児の発達と食生活の関連性を理解して、調理することができる。 【知】幼児に必要な栄養素と食事の与え方を理解している。
幼児とのふれあい	2	・幼児とのふれあいについて、自分の課題を設定できる。 ・幼児に合った接し方や遊びを工夫して触れ合うことができる。	【主】幼児の観察を通して、幼児に関心を持っている。 【思】幼児の心身の発達に応じたかかわり方について、観察したことを生かしてかかわり方を考え、工夫している。 【思】幼児の遊びや発達の特徴、施設の安全面での配慮などについて、観点に基づいて観察し、整理することができる。
子どもと家族	1	・子供を育てる環境としての家族の役割を理解できる。	【知】子どもが育つ環境としての家族の役割を理解している。
家族との信頼関係	1	・家族とのかかわりや、これからの自分の家庭生活を考えることができる。 ・家族関係をよりよくする方法を考えることができる。	【主】これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えようとしている。

令和8年度 評価規準

学校名:江戸川区立鹿骨中学校